

## 「小合の生い立ち!」

明治34年(1901年)中蒲原郡「小鹿村」と「小梅村」が合併して「**小合村**」が誕生しました。  
その後、昭和30年、新渥市に編入、その後平成17年に新渥市と合併しました。

## 小鹿と小梅の出逢い

◎合併当時の  
「小梅村」は、422軒 人口3,020人  
「小鹿村」は、300軒 人口2,039人  
◎このデータから見ると、1世帯平均で7人家族であった事になります。  
現在では、平均家族数は半減しています。

## 10 両国橋(浦興野)



昔、この地にあった水路を舟付き場とし、橋が架かっていました。東京の両国から取って両国橋と名付け大変な賑わっていました。

## ◎日本一長いいのちの源流 『信濃川』 全長367km



### 信濃川(上流の千曲川に通じる大河)

当地を悠々と流れる「信濃川」。信濃川と呼ばれるのは新潟県域のみで、長野県にさかのぼると千曲川(ちくまがわ)と呼称が変わる。全長367kmのうち、信濃川と呼ばれる部分は153kmなのに対し、千曲川と呼ばれる部分は214kmと千曲川の方が長い。ただし、河川法上では千曲川を含めた信濃川水系の本流を信濃川と規定しているため、信濃川は日本で一番長い川となっています。

## ◎小合に伝わる伝統芸能

- ◆ 子成場 …… 獅子舞
- ◆ 川根 …… 神楽舞
- ◆ 小屋場 …… 神楽舞(太夫舞)
- ◆ 大鹿 …… 神楽舞/檜権節
- ◆ 小戸下組 …… 獅子舞



◎小戸下組には、新潟市指定文化財となっている伝統芸能「獅子踊り」があります。毎年1回、8月の秋祭りで披露されます。

## 11 桜の舞うみち(野方)



長さ約1kmのマイロードには4月下旬になると陽光桜が一斉に満開になり、この道を通る人の心を癒してくれます。

## 12 水倉(出戸)



水倉とは、洪水の対策で、屋敷内に土盛りをして建てた倉のことをいいます。中に食料、家財などを入れておき、洪水の時に生活できるようにもなっています。また、舟の準備しておく所もありました。多くは明治期になってから造られました。

## 13 「越後姫」生産発祥の地



小屋場、梅ノ木など、小合の野菜農家では、特産品の「越後姫」を生産し、各地へ出荷しています。

## 16 道の駅「花夢里にいつ」(川根)



花夢里にいつの売り場には季節の花々が約4万鉢。隣接の「新鮮組」(農産物直売場)には、地元農家がこだわりを持って作った野菜や果物などを販売しています。

## 15 チューリップ発祥の地 記念碑(川根)



昭和63年(1988年)に建設された「チューリップ発祥の地記念碑」は花夢里にいつ敷地内にあります。

## 14 信濃バレー親水レクリエーション広場(大秋)



平成2年(1990年)に開設された、信濃川河畔の総合レクリエーション施設で、広大な芝生広場を利用してゴルフ体験場、バーベキュー広場やサッカー場が整備されています。

## 17 小合園芸団地



大鹿の旧家(石黒家)が昭和16年に大鹿諏訪神社に建立したものを小戸上組の現在の地に移設しました。句碑には西郷隆盛の座右の銘である「敬天愛人」の書を原寸大に刻んであります。(西郷隆盛の書を転写)

## 9 西郷南州書碑(小戸上組)



## 8 古代丸木舟発見の地(川根)



ここで発見された丸木舟は杉材で出来ており、約1000年以上を経過したものと推定されています。発見地は「川根遺跡」に指定されており、発見された丸木舟は現在、江南区にある「北方文化博物館」で公開されています。

## 新津フラワーランド

◎金津丘陵にある「新津フラワーランド」にも、小合の花が多く展示・販売されています。

## 7 大秋排水機場(大秋)

この排水機場は、長年水害に悩まされていた新津郷の洪水対策として大正11年から9年掛けて開削した「東大通川」が「信濃川」と合流地点の排水施設です。現在ある施設は、昭和54年(1979年)に完成し、地域の治水を守る為に、なくてはならない存在となりました。



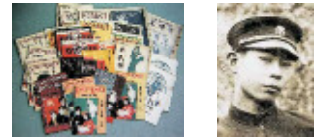
## 4 5 6 小合の銘木(保存樹/市指定文化財)



小合には数々の銘木があり、新潟市の保存樹や文化財に指定されています。  
○小戸下組の大鳥家の前庭にある「大花梨」は、幹周り1.8mで樹齢150年以上の古木です。今でも毎年5月頃に薄紅色の美しい花をたくさん咲かせます。  
○小戸下組の佐藤家には高さ12mもある「タブの木」の大木があります。  
○浦興野の長井家に「子成場楠」の古木があります。樹齢は約240年ですが、秋になると立派に、たくさんの実を付けています。

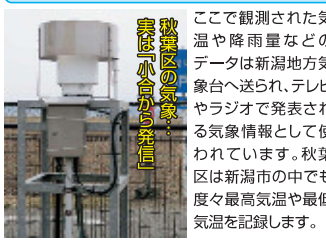
## 1 吉田千秋生家(つひつじくさの作者)

吉田千秋は、今から100年前「琵琶湖周航の歌」の原曲である「つひつじくさ」を作曲しました。又、音楽の他にも語学、植物学、他の多くの研究をしました。この住宅は千秋の父で歴史地理学者として知られる吉田東伍博士の家です。土蔵(倉庫)には吉田家の貴重な資料が保管されています。



↑千秋が投稿した雑誌  
吉田家住宅と吉田千秋

## 2 気象観測所(小戸上組)



ここで観測された気温や降水量などのデータは新潟地方気象台へ送られ、テレビやラジオで発表される気象情報として使われています。秋葉区は新潟市の中でも度々最高気温や最低気温を記録します。

## 3 大鹿諏訪神社 石仏(市指定文化財)



大鹿諏訪神社の中世石仏は地蔵様石と呼ばれています。阿弥陀如来を刻んだもので、地域の年配者の話では若い頃よく力比べの盤持石として遊んだ記憶があるということです。